

## 再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：村山 一弥

事業名	一般国道 <sup>ゆうき</sup> 50号結城バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点	白：茨城県結城市小田林 至：茨城県筑西市布川			延長	7.7km	
事業概要	一般国道50号は、北関東内陸部～太平洋岸を東西に連絡する主要幹線道路である。一般国道50号結城バイパスは、結城市を中心とした周辺地域の都市交通の円滑化と交通安全の確保、開発計画等地域振興の支援を目的に進めている延長7.7kmの4車線のバイパス事業である。					
S54年度事業化	S53年度都市計画決定 (H一年度変更)	S55年度用地着手	S55年度工事着手			
全体事業費	約289億円	事業進捗率	97%	供用済延長	7.7km	
計画交通量	19,100～36,300台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.1  (残事業) 11.1	総費用 (残事業)/事業全体 36/656億円 (事業費：30/630億円 維持管理費：6.3/26億円)	総便益 (残事業)/事業全体 403/1,389億円 (走行時間短縮便益：392/1,268億円 走行費用減少便益：10/102億円 交通事故減少便益：0.52/18億円)	基準年 平成29年		
感度分析の結果	【事業全体】交通量：B/C=2.1～2.2 (交通量 ±10%) 事業費：B/C=2.1～2.1 (事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.9～2.3 (事業期間±20%)					
感度分析の結果	【残事業】交通量：B/C= 8.8～13.3 (交通量 ±10%) 事業費：B/C=10.2～12.1 (事業費 ±10%) 事業期間：B/C=10.3～11.1 (事業期間±20%)					
事業の効果等	①交通混雑の緩和 ・結城バイパスは、平成14年に全線暫定2車線にて開通後、順次4車線化しており、約10年が経過。 ・暫定2車線区間に並行する現道では、川島交差点に交通が集中することから慢性的に渋滞が発生。 ・バイパスの暫定2車線区間においても、交通渋滞が発生。 ・4車線化により、交通の円滑が図られ、交通渋滞の緩和が見込まれる。 ②交通安全の確保 ・通過交通は、バイパスに転換し、4車線区間に並行する旧道では渋滞が解消し、安全性が向上。 ・4車線化により、交通の円滑化が図られ、安全性の向上が見込まれる。 ③地域振興への支援 ・結城バイパスの整備により、土地区画整理事業によるまちづくりを支援。 ・下館バイパスと一体となって地域振興を支援。					
関係する地方公共団体等の意見	・茨城県知事の見解： 一般国道50号結城バイパスは、これまでに延長7.7kmのうち4.9kmが4車線で供用されているものの、残る2.8km区間については暫定2車線となっており、全線4車線化により交通渋滞の緩和や安全性の確保、新4号国道及び北関東道へのアクセス性向上に大きく寄与するものと期待しています。 また、新川島橋を含む暫定2車線区間の早期4車線化など事業の必要性が高く、事業を継続することは妥当と考えます。 今後の事業推進に当たっては、徹底したコスト削減を図るよう、お願いします。					
事業評価監視委員会の意見	事業の継続を承認する。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	一般国道50号栃木県内区間は4車線で整備されるとともに、北関東自動車道が全線供用（平成23年3月）され、沿道に工業団地等が立地し、当該道路における交通需要が増大している。					

事業の進捗状況、残事業の内容等

昭和54年度に事業化、用地進捗率100%、事業進捗率97%（平成29年度3月末時点）

平成14年度までに全線暫定2車線（延長7.7km）で開通、西側（結城市小田林～結城市結城）の延長4.9km区間については、平成16年度までに4車線化が完了。引き続き、全線4車線開通を目指し、Ⅱ期線の工事を推進する。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

新川島橋Ⅱ期線施工にあたり、最新の技術基準で支持層を見直した結果、杭基礎への変更や既設橋脚の耐震照査を実施した結果、RC巻立てが必要となった。

計画河床床より最大3.3mの洗掘が確認されたことから、洗掘拡大による下部工への被害を防止するため護床工および護岸工が必要となった。

今後は、用地の取得は100%完了しているため、引き続き、全線4車線開通に向けた事業促進を図る。

施設の構造や工法の変更等

新技術の積極的な活用等により、コスト縮減に取り組む。

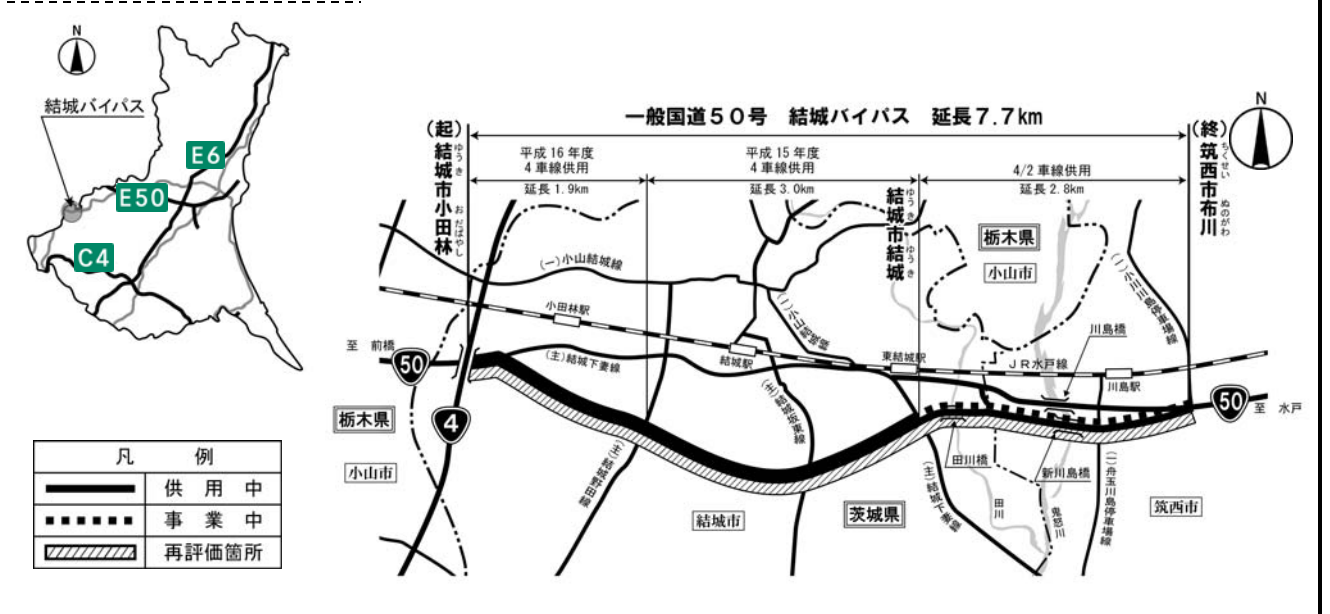
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、本事業は、結城市を中心とした周辺地域の交通円滑化、安全性向上、地域振興への支援の観点から、事業の必要性・重要性は高く、早期の効果発現を図ることが適切である。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。